

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
永井 正幸、川勝 素子、辛島 則子、林 典子、小林 里佳			
火2			
添付ファイル			

科目の概要	ML週とピアノ週に分けて授業を行う。ML週では保育現場で欠かせないマーチ等リズム曲のレパートリーを増やし、その保持に努めることができるように指導する。ピアノ週では、個々の進度に応じてグレード別課題曲（バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ・ソナタアルバム）及び弾き歌いを学ぶ授業を行う。多くの楽曲に取り組むことで、楽譜を速く正確に読み取る力を養うことを目的とする他、表現実践の応用へと繋げるため、楽曲内容の効果的な音楽表現について教授する。
授業の内容	<p>第1回 ピアノ週：本科目の説明、楽曲の効果的な譜読みについて 授業の進め方について、学習目標の説明、譜読みのポイントについて 本科目では、以下の本学ピアノグレード課題曲及びリズム曲・弾き歌い楽曲を進度に合わせて学ぶ。</p> <p>（ピアノグレード課題曲の範囲） グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲 グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から複数曲 グレード8～9：ソナタアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から 複数曲 グレード10：自由曲</p> <p>（リズム曲・主要学習曲） スウェーデンマーチ、草競馬、ルイヴィルマーチ、わらの中の七面鳥、幼稚園マーチ等</p> <p>（弾き歌い学習曲） 春がきた、うみ、夕やけこやけ、茶つみ</p> <p>第2回 ML週：リズム曲(複数曲譜読み) リズム学習曲の譜読みを進度に合わせて行う。</p> <p>第3回 ピアノ週：課題曲(指使い)、弾き歌い グレード課題曲より選択された楽曲を学ぶ。弾き歌い楽曲の譜読みを進度に合わせて行う。</p> <p>第4回 ML週：リズム曲(技術的課題の確認) リズム学習曲の演奏上の課題を把握、改善を図る。</p> <p>第5回 ピアノ週：課題曲(フレージングについて) 楽曲の曲想とフレージングの関係について学ぶ。</p> <p>第6回 ML週：リズム曲複数曲(曲想表現) リズム学習曲6曲の譜読みを終えると同時に、各リズム曲の曲想表現について考察する。</p> <p>第7回 ピアノ週：課題曲(レガート・スタッカート)、弾き歌い(ピアノパート練習) 楽曲の曲想に合う、レガート・スタッカート奏法を学ぶ。</p> <p>第8回 ML週：リズム曲複数曲(暗譜) 本科目で学ぶリズム学習曲全曲の暗譜演奏に向けて準備する。</p> <p>第9回 ピアノ週：課題曲(響きのバランスについて) 楽曲を演奏する上で重要な響きのバランスについて、左右の音量や拍子・リズム、調性など総合的に考察を進める。</p> <p>第10回 ML週：リズム学習曲の仕上げ リズム学習曲試験に向けて、各リズム曲の演奏表現・技術の確認を行う。</p> <p>第11回 ピアノ週：課題曲(曲想表現)、グレード課題曲の中から実技試験曲選択 定期試験に向けて、グレード課題曲から選択された楽曲の譜読みを行う。</p> <p>第12回 ML週：リズム学習曲実技試験 リズム学習曲の実技試験を実施する。</p> <p>第13回 ピアノ週：実技試験曲(譜読み終了)、弾き歌い(曲想表現) 定期試験曲の譜読みを終え、曲想表現の考察・練習に進む他、弾き歌い楽曲の曲想表現について学ぶ。</p> <p>第14回 ピアノ週：実技試験曲(暗譜・通し練習)、弾き歌い(試験曲決定) 試験曲演奏上の技術的課題の改善及び表現の工夫に取り組む他、楽曲の暗譜に取り掛かる。 弾き歌い試験曲を決定する。</p> <p>第15回 ピアノ週：実技試験曲の仕上げ(暗譜を含む) 試験曲を暗譜で演奏する。試験に向けて楽曲表現や演奏技術を確認する。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読譜力を高めることができる。</li> <li>・楽語やイメージを大切に演奏できる。</li> </ul>

	・バイエルを修了する。
授業の方法	実技形式。本学グレード課題曲を学ぶピアノ週と、リズム曲を学ぶML週に分けて授業を行う。各教員の担当学生数は、4～5名となる。使用教室はML教室とピアノレッスン室である。
成績評価の方法	実技試験(定期試験・リズム曲試験)と平常点による評価。割合は、定期試験60%・リズム曲試験30%・平常点10%とする。
教科書・テキスト	「全訳バイエルピアノ教則本」全音 「ブルクミュラー 25の練習曲」全音 「ソナチネアルバム1 標準版」全音 「ソナタアルバム1 標準版」全音 「やさしく学べるピアノ100」 関西地区大学音楽教育学会編著 音楽之友社 「保育用 ピアノマーチ集」 一宮道子編 全音 「小学校教員養成課程用 最新初等科音楽教育法 2017年告示『小学校学習指導要領』準拠」 初等科音楽教育研究会 編 音楽之友社
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	・グレード課題曲とリズム学習曲、弾き歌い曲の練習時間のバランスを考慮すること。 ・課題曲の予習曲数を2曲以上とすること。
履修上の留意事項	単位を修得するためには、バイエル104番を修了しなければならない。
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	